

# アスパラガス 8月指導会補足資料

令和6年8月19日～20日

東北地方 1か月予報(08/17～09/16)		
2024年08月15日14時30分 仙台管区气象台 発表		
特に注意を要する事項	東北太平洋側では、期間の前半は気温がかなり高くなる可能性があります。	
向こう1か月 08/17～09/16	天候	天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。
	気温	平均気温は、高い確率70%です。
	降水量	降水量は、東北太平洋側で平年並または多い確率ともに40%です。
	日照時間	日照時間は、平年並または多い確率ともに40%です。
1週目 08/17～08/23	気温	1週目は、高い確率70%です。
2週目 08/24～08/30	気温	2週目は、東北日本海側で高い確率70%、東北太平洋側で高い確率80%です。
3～4週目 08/31～09/13	気温	3～4週目は、高い確率60%です

夏の終わりから秋にかけて雨が多いと斑点病・褐斑病の発生が多くなります。枯れた葉枝は圃場外に持ち出し薬剤防除を行いましょ。尚、上記の病気に効果のあるシグナムWDG・ファンタジスタ顆粒水和剤は同系統の薬剤の為、連用はしないようお願い致します。

ベンレート水和剤とロブラール水和剤をローテーションして使用しましょ。

《追肥について》 アスパラガスの追肥については8月末までに終わせましょ。

立茎にも栄養を多量に必要とする為、足りない栄養を補給してあげましょ。

アスパラガス専用肥料 10aあたり20kg or 野菜肥料S535 10aあたり20kg

土壤診断でリン酸・カリが過剰な圃場の場合

硫安 10aあたり14kg or 尿素 10aあたり7kg

上記の何れかを使用しましょ。また、**使用量は1か月分の量**となります。2～3回に分けて追肥しましょ。尿素を均一に散布が難しい場合は硫安を使用しましょ。

《養分転流の準備について》

7～10日に1回 **(トップスコア・リン 1000倍)**を薬剤混用し葉面散布をしましょ。

(コサイド3000は除く) また、高温時の散布は避けること

※尚、トップスコア・リンをお求めの際は事前に資材センターに注文をお願い致します。

《病害茎と残茎処理について》

・茎枯病にかかった茎は薬剤による治療はできない為、発症が確認されたら周りにうつらないよう直ちに抜き取ること。また春どりの方は1週間に1回病害茎は抜き取りましょ。

また、**斑点病・褐斑病が蔓延した圃場においては薬剤で進行を遅らせる事ができる為、諦めずに防除しましょ。**

・防除期間は10月上旬で終了です。止め剤としてICボルドー又はベフラン液剤25を散布しましょ

・立茎中の茎割れについて



立茎中に茎割れが発生している場合、立茎した茎が急激に水分を吸うことで割れが発生するケースが多いですが、他にも要因としてカルシウム・ホウ素の不足による生理障害も要因となっております。

割れが発生すると、病害リスクが高まったり養分を根に送りにくくなる為、追肥などで栄養素を補填しましょう

・カルシウムの補給

てんろ石灰・炭カル 10 a あたり / 100 kg

・ホウ素の補給

マルチサポート1号 10 a あたり / 20 kg ~ 60 kg

茎割れが発生する場合上記の資材を追肥として投入しましょう。



カルシウムとホウ素の投入は他にも扁平や空洞化の抑制にも効果があります。